

平成29年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金の運用実績)

(単位：千円)

事業区分	基金の 保有区分	平成29年度 当初保管額	運用益繰入額	平成29年度 支出済額	平成29年度 年度末保管額	今後の 支出予定額	保有 割合
中間貯蔵施設整備等 影響緩和交付金 基金事業	地方債	10,000,000	41,800	41,800	10,000,000	10,000,000	1.0
	定期預金	35,793,009	22,064	1,054,991	32,373,041	32,373,041	1.0
	普通預金(注)	0	0	0	2,387,041	2,387,041	1.0
合計		45,793,009	63,864	1,096,791	44,760,082	44,760,082	1.0

(注) 普通預金の当初保管額、運用益繰入額については定期預金に含む。定期預金の満期分については、一部普通預金に振り替え。

- ※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること。
- ※ 基金の保有区分は、実施要領第3の1で定める「基金の運用方法」を参考に記載すること。
- ※ 運用益繰入額は、当該年度に基金の運用によって生じた果実の金額を記載すること。
- ※ 支出済額は、当該年度内に支出負担行為を行い、出納整理期間に支出をしたものを含む。ただし、当該年度に債務負担行為のみを行ったものについては含まない。
- ※ 保有割合は、補助金等の交付により造成した基金等に関する基準（平成18年8月15日閣議決定）に従い算出すること。（通常を取崩し型事業であれば、「平成〇年度末保管額／今後の支出予定額」により算出すること。）

平成 29 年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金事業の結果)

事業名	事業実施主体	事業経費 (千円)						目標	目標達成度・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、経費の使用方法・内訳を含む。)
		基金充当費		単独経費		合計				
		予算	決算	予算	決算	予算	決算			
大熊町中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金交付事業	福島県 大熊町	当初 1,613,501 補正後 1,140,085	1,096,791	当初 645 補正後 327	325	当初 1,614,146 補正後 1,140,412	1,097,116	大熊町中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金交付事業の運営を通して大熊町の町民の生活再建支援を行う。	管理運営業務にあたる業者との密な検討を進めながら、安定的に補助金の交付を進めることができ、目標を概ね達成することができた。	①中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金交付事業 【目的】 中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、大熊町の町民のニーズに基づいて、「ふるさとの結びつき維持」や「生活空間の維持・向上」などにかかる費用を補助することにより、大熊町の町民の生活再建等を支援することを目的とする。 【内容】 上記目的の達成のため、平成 23 年 3 月 11 日時点で住民登録があり、補助を受けようとする経費を支出する年度の 4 月 1 日に生存している住民の方を対象に、一人あたり 10

									<p>万円／年（世帯に対象者が複数いる場合は、一世帯あたりその人数を乗じた金額）を上限として、補助金を交付する。</p> <p>【完了期日】 平成 30 年 3 月 31 日</p> <p>【経費の使用方法】 基金充当費 1,010,480 千円</p> <p>②中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金交付事業運営等</p> <p>【目的】 中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、大熊町の町民のニーズに基づいて、「ふるさとの結びつき維持」や「生活空間の維持・向上」などにかかる費用を補助することにより、生活再建等を支援するための上記①の事業を運営することを目的とする。</p> <p>【内容】</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

									<p>上記目的達成のため、補助上限額等の管理のための電算システムの保守管理及び運営、手続等を説明した冊子等の発送業務、並びにコールセンター及び相談窓口等の運営を包括的に委託し、円滑に事業を執行する。</p> <p>【完了期日】 平成 30 年 3 月 31 日</p> <p>【経費の使用方法】 基金充当費 85, 530 千円</p> <p>③中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金運用支援業務委託</p> <p>【目的】 中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、大熊町の町民のニーズに基づいて、「ふるさとの結びつき維持」や「生活空間の維持・向上」などにかかる費用を補助することにより、生活再建等を支援する</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

										<p>ための上記①の事業が適正に運営されるための進捗管理等を行うことを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>上記目的達成のため、包括委託業者と大熊町担当等が連携を密にして円滑な事業実施が図られるよう、運用オペレーティング、工程管理等に知見・実績を持つ事業者へ委託し、事業の進捗管理等を行う。</p> <p>【完了期日】</p> <p>平成 30 年 3 月 31 日</p> <p>【経費】</p> <p>基金充当費</p> <p>781 千円</p>
										<p>【単独経費】</p> <p>325 千円</p> <p>【内容】</p> <p>中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金事業に係る打合せ等職員旅費</p>